

関係各位

福岡県米・麦・大豆づくり推進協議会
(事務局：J A 福岡中央会 担い手・営農サポートセンター)
(公 印 省 略)

営農情報 4

ウンカの飛来状況

平年に比べて非常に早く、5月10日にトビイロウンカの飛来が確認されています。

本年は、梅雨入りが平年に比べ、20日早く、今後の飛来も多くなる可能性がありますので、下記の事項を参考に、技術対策の実施をお願いします。

トビイロウンカの飛来状況

福岡県病害虫防除所の調査によると 5月10日に大木町、5月13日に糸島市の予察灯において、トビイロウンカの飛来を確認しています（昨年度5月18日確認）。

九州各県においてもセジロウンカの飛来を5月5日に長崎県諫早市、5月12日、5月15日に鹿児島県南さつま市で確認しています。

1 対策

梅雨入りも早いことから、昨年同様にトビイロウンカの飛来回数、その後の増殖が多くなることが懸念されますので、下記の対策を徹底してください。

(1) 箱施薬剤

- ・ 必ずトビイロウンカに効果の高いゼクサロン混合のものを選択する。
- ・ 規定量を厳守する。
- ・ 田植え前日の施用が望ましい。
- ・ 極端な疎植を避ける（10a 当たりの処理量が少なくなり、防除効果が低下）

(2) 本田防除

- ・ 早期水稻や極早生「夢つくし」においても多発した場合は、出穂前に必ず防除を実施する。
- ・ 株元に到達するように、丁寧な薬剤散布を行う。
- ・ 防除器具が無い場合などは、粒剤の施用で対応する。

(3) 耕種的対策

- ・ 極端な早植えは避ける。
- ・ 多肥栽培は避ける。

効果の高い箱施薬剤を必ず施用し、

田植え後は、早期発見、早期防除に努めましょう。